



インターコム コーリング サーチ スペースの設定

インターコム コーリング サーチ スペースは、通常はデバイスに割り当てられているインターコム ルートパーティションの順序リストで構成されます。インターコム コーリング サーチ スペースによって、発信側デバイスがコールを完了しようとするときに検索するパーティションが決まります。

コーリング サーチ スペースとパーティションの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「パーティションおよびコーリング サーチ スペース」を参照してください。インターコムの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』の「インターコム」を参照してください。

コーリング サーチ スペースを検索、追加、更新、コピー、または削除するには、次のトピックを参照してください。

- [インターコム コーリング サーチ スペースの検索 \(P.48-2\)](#)
- [インターコム コーリング サーチ スペースの設定 \(P.48-3\)](#)
- [インターコム コーリング サーチ スペースの設定値 \(P.48-4\)](#)
- [インターコム コーリング サーチ スペースの削除 \(P.48-6\)](#)

インターコム コーリング サーチ スペースの検索

ネットワーク内にはいくつかのインターコム コーリング サーチ スペースが存在することがあるの
で、Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、特定のインターコム コー
リング サーチ スペースを見つけることができます。インターコム コーリング サーチ スペースを特
定する手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、イン
ターコム コーリング サーチ スペースの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してか
らこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えない限り、インターコム コーリン
グ サーチ スペースの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [インターコム] > [インターコムコーリングサーチスペース] の順に選
択します。

[インターコムコーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Intercom Calling Search
Spaces)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウ
に表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認
し、[ステップ 3](#) に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注)

検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したす
べての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリッ
クして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追
加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リスト ボック
スから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注)

該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリッ
クすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリッ
クして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコ
ードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.48-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

インターコム コーリング サーチ スペースの設定

インターコム コーリング サーチ スペースをコピー、追加、および更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 メニューバーで [コールルーティング] > [インターコム] > [インターコムコーリングサーチスペース] の順に選択します。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存のインターコム コーリング サーチ スペースをコピーするには、対象となるインターコム コーリング サーチ スペースを見つけます (P.48-2 の「[インターコム コーリング サーチ スペースの検索](#)」を参照)。コピーするインターコム コーリング サーチ スペースの横にある [コピー (Copy)] ボタンをクリックします。ウィンドウに、コピーしたインターコム コーリング サーチ スペースが表示されます。[名前] フィールドで名前を変更し、[ステップ 3](#) に進みます。
- インターコム コーリング サーチ スペースを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。



(注) 他のコーリング サーチ スペースを追加するには、[新規追加] をクリックして、[ステップ 3](#) からの手順を繰り返します。

- 既存のインターコム コーリング サーチ スペースを更新するには、対象となるインターコム コーリング サーチ スペースを見つけて (P.48-2 の「[インターコム コーリング サーチ スペースの検索](#)」を参照)、[ステップ 3](#) に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 48-1 を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

追加情報

P.48-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

インターコム コーリング サーチ スペースの設定値

表 48-1 では、コーリング サーチ スペースの設定値について説明します。

表 48-1 インターコム コーリング サーチ スペースの設定値


フィールド	説明
[インターコムコーリングサーチスペース情報 (Intercom Calling Search Space Information)]	
[名前]	<p>名前を [名前] フィールドに入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各コーリング サーチ スペース名が、システムに固有の名前であることを確認してください。</p> <p> (注) インターコム コーリング サーチ スペースには、内容を表す簡潔な名前を使用してください。通常、CompanynameLocationCalltype の形式が、内容を的確に表し、コーリング サーチ スペースをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「CiscoDallasMetroCS」は、Dallas の Cisco オフィスからの、LATA (Local Access and Transport Area) 間の無料コール用のコーリング サーチ スペースとして特定できます。</p>
[説明]	[説明] フィールドに説明を入力します。この説明には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。

表 48-1 インターコム コーリング サーチ スペースの設定値 (続き)


フィールド	説明
[このコーリングサーチスペースのインターコムルートパーティション (Intercom Route Partitions for this Calling Search Space)]	
[使用可能なインターコムパーティション (Available Intercom Partitions)]	<p>[使用可能なインターコムパーティション (Available Intercom Partitions)] リスト ボックスでインターコム パーティションを選択し、そのパーティションを [選択されたインターコムパーティション (Selected Intercom Partitions)] リスト ボックスに追加します。これには、この 2 つのリスト ボックス間にある矢印ボタンをクリックします。</p> <p>ある範囲のインターコム パーティションを一度に追加するには、その範囲内の最初のインターコム パーティションをクリックし、Shift キーを押した状態でその範囲内の最後のインターコム パーティションをクリックします。2 つのリスト ボックス間にある矢印ボタンをクリックして、その範囲のパーティションを追加します。</p> <p>連続していない複数のインターコム パーティションを追加するには、Control (Ctrl) キーを押した状態で複数のインターコム パーティションをクリックしていきます。2 つのリスト ボックス間にある矢印ボタンをクリックして、選択したインターコム パーティションを追加します。</p> <p> (注) インターコム パーティション名の長さによって、インターコム コーリング サーチ スペースに追加できるインターコム パーティションの最大数が制限されます。表 48-2 に、インターコム パーティション名が固定長である場合にインターコム コーリング サーチ スペースに追加できるパーティションの最大数の例を示します。</p>
[選択されたインターコムパーティション (Selected Intercom Partitions)]	インターコム パーティションの優先順位を変更するには、[選択されたインターコムパーティション (Selected Intercom Partitions)] リスト ボックス内のインターコム パーティション名を選択します。そのリスト ボックスの右側にある矢印をクリックして、リスト内でそのインターコム パーティションを上下に移動させてください。

表 48-2 に、パーティション名が固定長である場合にコーリング サーチ スペースに追加できるインターコム パーティションの最大数の例を示します。この最大数の計算方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「パーティション名の制限」を参照してください。

表 48-2 コーリング サーチ スペースのパーティション制限

パーティション名の長さ	パーティションの最大数
2 文字	170
3 文字	128
4 文字	102
5 文字	86
...	...
10 文字	46
15 文字	32

追加情報

P.48-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

インターコム コーリング サーチ スペースの削除

インターコム コーリング サーチ スペースを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイス、回線 (DN)、トランスレーション パターンなどの項目が使用しているコーリング サーチ スペースは、削除できません。コーリング サーチ スペースを使用しているデバイス、回線、トランスレーション パターンなどの項目を検索するには、[コーリングサーチスペースの設定 (Calling Search Space Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスにある [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」](#)を参照してください。使用中のコーリング サーチ スペースを削除しようとすると、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用中のコーリング サーチ スペースを削除する前に、次の作業の一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するコーリング サーチ スペースを使用しているデバイス、回線、またはトランスレーション パターンすべてに、別のコーリング サーチ スペースを割り当てる。[P.49-1 の「インターコム電話番号の設定の概要」](#)および [P.50-3 の「インターコム トランスレーション パターンの設定」](#)を参照してください。
- 削除するコーリング サーチ スペースを使用しているデバイス、回線、またはトランスレーション パターンを削除する。[P.57-5 の「電話機からの電話番号の削除」](#)および [P.50-11 の「インターコム トランスレーション パターンの削除」](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** メニューバーで [コールルーティング] > [インターコム] > [インターコムコーリングサーチスペース] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するインターコム コーリング サーチ スペースを見つけます。[P.48-2 の「インターコム コーリング サーチ スペースの検索」](#)を参照してください。
- ステップ 3** 削除するインターコム コーリング サーチ スペースのチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックします。
- この操作を実行すると取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。
- ステップ 4** インターコム コーリング サーチ スペースを削除するには、[OK] をクリックします。削除を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。

**注意**

インターコム コーリング サーチ スペースを削除するときは、削除するインターコム コーリング サーチ スペースが正しいか慎重に確認してください。削除したインターコム コーリング サーチ スペースを元に戻すことはできません。不用意に削除すると、削除したインターコム コーリング サーチ スペースを作成し直す必要があります。

**ヒント**

インターコム コーリング サーチ スペースの削除は、削除するインターコム コーリング サーチ スペースを見つけて表示し、**[削除]**をクリックすることによっても実行できます。

追加情報

P.48-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [インターコム コーリング サーチ スペースの検索 \(P.48-2\)](#)
- [インターコム コーリング サーチ スペースの設定 \(P.48-3\)](#)
- [インターコム コーリング サーチ スペースの設定値 \(P.48-4\)](#)
- [インターコム コーリング サーチ スペースの削除 \(P.48-6\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「パーティションおよびコーリング サーチ スペース」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「パーティション名の制限」
- [依存関係レコードへのアクセス \(P.A-4\)](#)
- [電話機からの電話番号の削除 \(P.57-5\)](#)
- [インターコム電話番号の設定の概要 \(P.49-1\)](#)
- [依存関係レコードへのアクセス \(P.A-4\)](#)

